

▼つなぐ活動

インフラパートナーの紹介を 土木学会全国大会ポスターセッションで

土木と市民社会をつなぐフォーラム&土木学会インフラパートナーG 幹事長
シビルNPO 連携プラットフォーム 常務理事&事務局長
(メトロ設計 取締役)

田中 努



■土木学会全国大会ポスターセッションへの投稿

昨年度、私たち、土木広報センターの「インフラパートナー・グループ」のインタビューに応じてくださった7団体と、インフラパートナー制度をより効果的にするための意見交換をしました。

その中で、土木学会とインフラパートナーが「双方の活動の広報」に関して連携するという、「合意書」にある基本事項の具体化として、①各支部持ち回りの全国大会のポスターセッションで紹介しよう、②土木学会の会員にもインフラパートナー制度の存在を周知しよう・・・という意見がありました。

上記の①は、インフラパートナーである西部支部の「噂の土木応援チーム デミーとマツ」が、今回の全国大会の実行委員だったこともあり、まず、今年の熊本大会でトライしてみようとなりました。

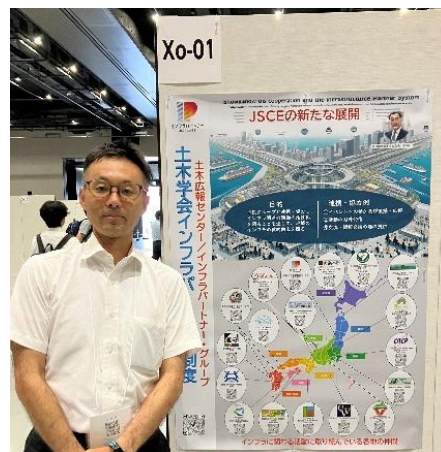
②は、自治体主導で市民との協働を始めたときに、自治体の出先窓口の職員が内容を熟知していないために、上手く展開できなかったという経験から出た話ですが、私自身、土木学会の調査研究部門の委員会活動で長年毎月1〜2回学会に来ていたのに、上司に誘われてCNCPに関わる活動に参加するまで、土木広報センターの存在すら知らなかったのですから、さもあらん・・・と思いました。特に、「合意書」にある「双方の活動に資する情報交換」としては、インフラパートナーが土木学会と連携する大きなメリット・期待にアカデミズムの視点からの助言や支援があると思います。しかし、これは、主に、調査研究部門の委員会の協力が不可欠ですから、その委員たちがこの制度を知っていないと・・・と思います。

■ポスターの内容

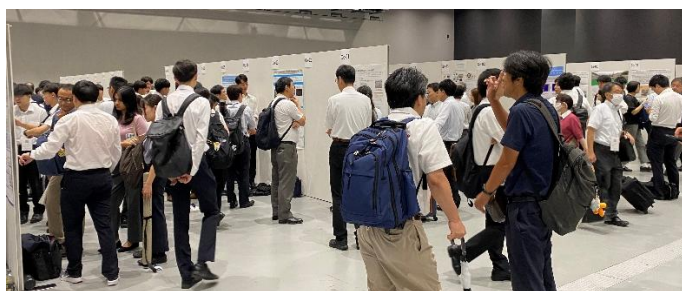
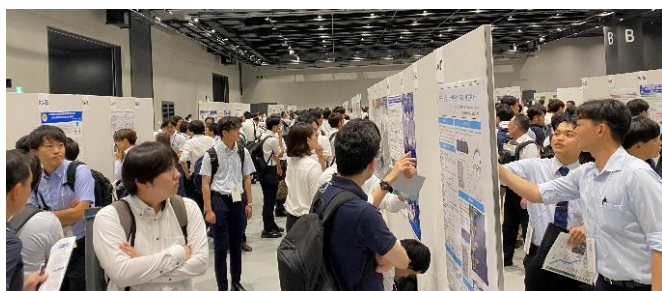
ポスターセッションは、バスターミナルに隣接した、便利できれいな「熊本城ホール」で行われ、下の写真のように、終日多くの来場者がありました。

ポスターには、「土木学会5カ年計画2020」の1つとして家田会長が制定された「インフラパートナー制度」の存在と、インフラパートナー18団体の名称・所在地・QRコードを紹介しました（次ページ参照）。リーフレットも用意して、持ち帰れるようにしました。

しかし、私たちのポスターは、調査研究の成果発表ではないので異質で（笑）、皆さん、チラッと見てくれますが、残念ながら、近づいて見てくれる方は、極、僅かでした。



ポスターと熊本委員



ポスターセッションの会場風景



土木学会インフラパートナー制度

土木広報センター／インフラパートナー・グループ

Shows show this cooperation and the infrastructure Partner System
Calculation of cooperation with other organizations, deployment of resources, ability to provide the service infrastructure partner system

JSCEの新たな展開

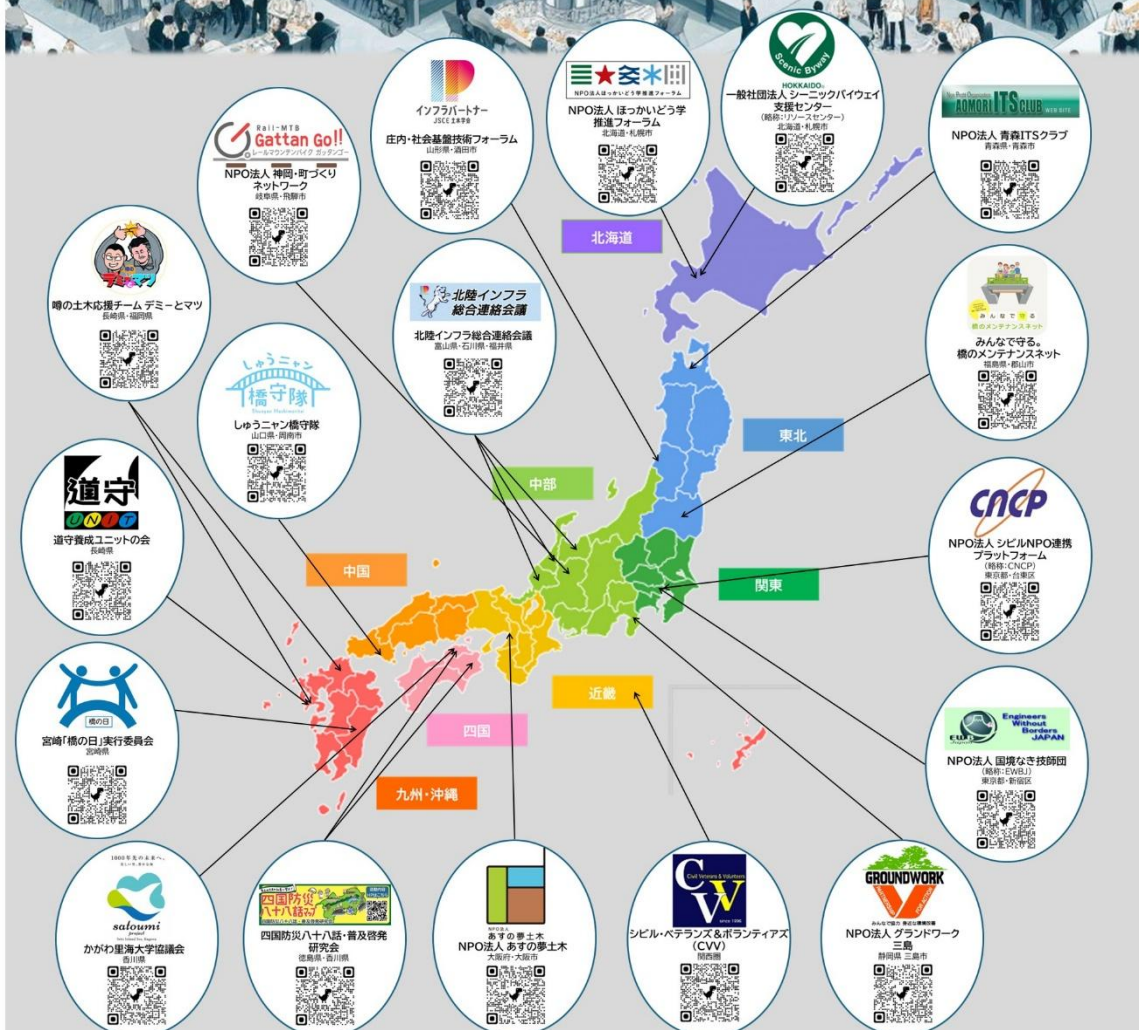
第108代土木学会会長 家田仁

目的

市民グループと連携・協力し、
インフラ関連の活動の活性化
を図ることを通じて、地域の
インフラの質的向上を図る

連携・協力例

- ① イベントへの参加及び後援・広報
- ② 活動の対外発信
- ③ 交流・情報交換の場の提供



インフラに関わる活動に取り組んでいる各地の仲間